

私の視点

いま自治体で

滋賀県知事

くにまつ
國松
よしつぐ
善次



滋賀県は中央に琵琶湖を擁し、周囲を豊かな森林に彩られた山々に囲まれている。この滋賀の森林は、生命の源である琵琶湖の豊かな水を育み、県土を洪水や土砂災害から保全して県民の生命や財産を守るとともに、多様な動植物の生息、生育の場であるなど極めて重要な機能を有している。

一方で、この何ものにも代えがたい貴重な財産である森林を守り育ててきた林業公会が、県土を洪水や土砂災害から保全して県民の生命や財産を守るとともに、多様な動植物の生息、生育の場であるなど極めて重要な機能を有している。

そもそも林業公会は、昭和30年代に経済の急速な発展に伴う木材需要の増大に対応するため、分収造林特別措置法に基づき、国策として進められた拡大造林政策を担うために設立された。森林所有者との間で伐採時に得られる収益を分け

定化が課題となっているのだ。

一方、1960年前後の木材輸入自由化以来、安価な外国産材に押され、国産材の価格が下落・低迷した。伐採後の収益で投下経費を回収し借入金を返済してきたと言える。だが、それだけに滋賀の林業公会の債務残高は巨額に上ってしまっているのが実態だ。

とりわけ近畿1400万

人の暮らしを支える琵琶湖を抱える滋賀県では、当初費用は公会が農林漁業金融公庫や都道府県などから融資を受けて充当してきた。とりわけ森林所有者の自力では整備が困難な条件の不利な山での造林を国が指導したことでもあって、全国で2千億円を超え、経営の安

らくは滋賀県に限ったことではない。全国38都道府県に42公会があり、その債務残高の合計は実に1兆4千億円にのぼり、その処理に頭を抱えているのだが、実はこれは滋賀県に限ったことではない。全国38都道府県に42公会があり、その債務残高の合計は実に1兆4千億円にのぼり、その処理に頭を抱えているのだが、

これでは、ぜひとつのことを言及する。それは今日までに43万円を超えて造林、育林を進めることでもあるが、森林の公益的機能を重視し、下流の大坂府や兵庫県などからも資金の支援を受けた。とりわけ森林所有者の自力では整備が困難な条件の不利な山での造林を国が指導したことでもあって、全国で2千億円を超え、経営の安

らくは滋賀県に限ったことではない。全国38都道府県に42公会があり、その債務残高の合計は実に1兆4千億円にのぼり、その処理に頭を抱えているのだが、

この問題を解決するためには、ぜひとつのことを言及する。それは今日までに43万円を超えて造林、育林を進めることでもあるが、森林の公益的機能を重視し、下流の大坂府や兵庫県などからも資金の支援を受けた。とりわけ森林所有者の自力では整備が困難な条件の不利な山での造林を国が指導したことでもあって、全国で2千億円を超え、経営の安

らくは滋賀県に限ったことではない。全国38都道府県に42公会があり、その債務残高の合計は実に1兆4千億円にのぼり、その処理に頭を抱えているのだが、

opinion ◎ news project

◆林業公社

抜本改革に国の支援を

人の暮らしを支える琵琶湖を抱える滋賀県では、当初費用は公会が農林漁業金融公庫や都道府県などから融資を受けて充当してきた。とりわけ森林所有者の自力では整備が困難な条件の不利な山での造林を国が指導したことでもあって、全国で2千億円を超え、経営の安

らくは滋賀県に限ったことではない。全国38都道府県に42公会があり、その債務残高の合計は実に1兆4千億円にのぼり、その処理に頭を抱えているのだが、